

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4578961号
(P4578961)

(45) 発行日 平成22年11月10日(2010.11.10)

(24) 登録日 平成22年9月3日(2010.9.3)

(51) Int.Cl.

F 1

D O 6 F 58/10 (2006.01)

D O 6 F 58/10

A

D O 6 F 57/12 (2006.01)

D O 6 F 57/12

Q

請求項の数 2 (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願2004-376385 (P2004-376385)
 (22) 出願日 平成16年12月27日(2004.12.27)
 (65) 公開番号 特開2006-181023 (P2006-181023A)
 (43) 公開日 平成18年7月13日(2006.7.13)
 審査請求日 平成19年12月26日(2007.12.26)

(73) 特許権者 392005469
 モリテックスチール株式会社
 大阪府大阪市中央区谷町6丁目18番31号
 (74) 代理人 100086346
 弁理士 鮫島 武信
 (72) 発明者 清水 正廣
 大阪府大阪市中央区谷町6丁目18番31号 モリテックスチール株式会社内
 (72) 発明者 足立 克英
 大阪府大阪市中央区谷町6丁目18番31号 モリテックスチール株式会社内
 (72) 発明者 中田 肇
 大阪府大阪市中央区谷町6丁目18番31号 モリテックスチール株式会社内
 最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 浴室用ハンガー

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

浴室の壁面若しくは天井に取り付けられる左右の荷重支持部と、
 この荷重支持部から下方に垂下される左右の紐状体と、
 左右の紐状体に両端が接続される物干し竿と、
 左右の紐状体を上方に巻き上げることにより物干し竿を上昇させる巻き上げ装置とを備え、
 巻き上げ装置が、紐状体の巻き取り用ドラムと、このドラムに回転力を付与するゼンマイバネとを備えた浴室用ハンガーにおいて、
上記のドラムはゼンマイバネにより紐状体を巻き取るように常時付勢され、
浴室の壁面に取り付けられる左右の下方部材を備え、
上記下方部材は、下方支持部と係止部とを備え、
上記下方支持部は、物干し竿の両端の下方に位置することにより、物干し竿を下方から支持するものであり、壁面から突出する方向に物干し竿の下方に伸ばされた部位であり、
上記係止部は、物干し竿の上方への移動を阻止するように物干し竿の両端を着脱可能に係止するもので、下方支持部の上方に形成された一对の対向する突起であり、
この突起である一对の係止部間の開口長さが物干し竿の外径よりも僅かに短く設定され、
弾性変形することによって、物干し竿に係止部から下方に降ろすことができ、物干し竿が
上昇しないように物干し竿に係止することができるものであり、
洗濯物と物干し竿の総重量が、ゼンマイバネによる物干し竿を引き上げる力よりも小さい
場合には、物干し竿は係止部に係止された状態となり、

10

20

洗濯物と物干し竿の総重量が、ゼンマイバネによる物干し竿を引き上げる力よりも大きくなった場合には、下方支持部に物干し竿の荷重の一部が支持されることにより、物干し竿の荷重が上記の荷重支持部と下方支持部との双方で支持されるようにしたこと
を特徴とする浴室用ハンガー。

【請求項 2】

浴室の壁面若しくは天井に取り付けられる左右の荷重支持部と、
この荷重支持部から下方に垂下される左右の紐状体と、
左右の紐状体に両端が接続される物干し竿と、
左右の紐状体を上方に巻き上げることにより物干し竿を上昇させる巻き上げ装置とを備え、
巻き上げ装置が、紐状体の巻き取り用ドラムと、このドラムに回転力を付与するゼンマイバネとを備えた浴室用ハンガーにおいて、

10

上記のドラムはゼンマイバネにより紐状体を巻き取るように常時付勢され、
浴室の壁面に取り付けられる左右の下方部材を備え、
上記下方部材は、下方に下方支持部を備え、上方に係止部を備えた断面略 C 字状のものであり、横方向に開口している開口を備え、
物干し竿は横方向から下方支持部と係止部との間に挿入され、
洗濯物と物干し竿の総重量が、ゼンマイバネによる物干し竿を引き上げる力よりも小さい場合には、物干し竿は、上方に張り出された係止部によって上方への移動が不能のように係止され、

洗濯物と物干し竿の総重量が、ゼンマイバネによる物干し竿を引き上げる力よりも大きくなった場合には、下方支持部に物干し竿の荷重の一部が支持されることにより、物干し竿の荷重が上記の荷重支持部と下方支持部との双方で支持されるようにしたこと
を特徴とする浴室用ハンガー。

20

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本願発明は、浴室内で洗濯物などを乾燥させる際に使用される浴室用ハンガーに関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来より、浴室内で洗濯物などを乾燥させる際には、物干し竿を浴室の壁面から壁面にかけて渡すようにしている（特許文献 1～3）。この物干し竿は、その両端が、壁面に取り付けられた支持部材に着脱可能に支持され、天井から十～数十センチ下方に渡されている。

30

この物干し竿は、使用しない場合には支持部材から取り外して、適当な場所に保管すれば、物干し竿が邪魔になったりすることがなく、気持ちのよい雰囲気の入浴することができるが、取り外した物干し竿を収納する適当な場所がないのが現状である。しかも、狭い浴室内で長い物干し竿を持って動くことは簡単なことではなく、物干し竿は比較的高所に配位されているため、取り外しの際に体のバランスを崩してしまう恐れもある。

さらに、物干し竿と、これに掛けられた干し物との荷重を安全に支持するには、支持部材を壁面に強固に取り付ける必要があるが、浴室の構造によっては、柱材などがなく強固な固定が実現し得ない場合があり、より安全な物干し竿の支持構造が必要となる。

40

【0003】

【特許文献 1】特開平 08 - 290000 号公報

【特許文献 2】特開 2000 - 167296 号公報

【特許文献 3】特開 2003 - 181195 号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

本願発明は、浴室用ハンガーにあって、使用しない場合には、物干し竿を天井付近に配

50

位することができ、物干し竿が邪魔になったりすることがなく、気持ちのよい雰囲気に入浴することができ、他方、使用するときには、簡単に物干し竿を所定の位置に配位して使用できる浴室用ハンガーを提供することを目的とする。また本願発明の他の目的は、荷重支持に関する安全性を向上させることができる浴室用ハンガーを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0005】

そこで本願の請求項1に係る発明は、
浴室の壁面若しくは天井に取り付けられる左右の荷重支持部と、
この荷重支持部から下方に垂下される左右の紐状体と、
左右の紐状体に両端が接続される物干し竿と、
左右の紐状体を上方に巻き上げることにより物干し竿を上昇させる巻き上げ装置とを備え、
巻き上げ装置が、紐状体の巻き取り用ドラムと、このドラムに回転力を付与するゼンマイバネとを備えた浴室用ハンガーにおいて、
上記のドラムはゼンマイバネにより紐状体を巻き取るように常時付勢され、
浴室の壁面に取り付けられる左右の下方部材を備え、
上記下方部材は、下方支持部と係止部とを備え、
上記下方支持部は、物干し竿の両端の下方に位置することにより、物干し竿を下方から支持するものであり、壁面から突出する方向に物干し竿の下方に伸ばされた部位であり、
上記係止部は、物干し竿の上方への移動を阻止するように物干し竿の両端を着脱可能に係止するもので、下方支持部の上方に形成された一对の対向する突起であり、
この突起である一对の係止部間の開口長さが物干し竿の外径よりも僅かに短く設定され、
弾性変形することによって、物干し竿に係止部から下方に降ろすことができ、物干し竿が
上昇しないように物干し竿に係止することができるものであり、
洗濯物と物干し竿の総重量が、ゼンマイバネによる物干し竿を引き上げる力よりも小さい
場合には、物干し竿は係止部に係止された状態となり、
洗濯物と物干し竿の総重量が、ゼンマイバネによる物干し竿を引き上げる力よりも大き
くなった場合には、下方支持部に物干し竿の荷重の一部が支持されることにより、物干し竿
の荷重が上記の荷重支持部と下方支持部との双方で支持されるようにしたこと
を特徴とする浴室用ハンガーを提供することにより、上記の課題を解決する。

10

20

30

本願の請求項2に係る発明は、
浴室の壁面若しくは天井に取り付けられる左右の荷重支持部と、
この荷重支持部から下方に垂下される左右の紐状体と、
左右の紐状体に両端が接続される物干し竿と、
左右の紐状体を上方に巻き上げることにより物干し竿を上昇させる巻き上げ装置とを備え、
巻き上げ装置が、紐状体の巻き取り用ドラムと、このドラムに回転力を付与するゼンマイバネとを備えた浴室用ハンガーにおいて、
上記のドラムはゼンマイバネにより紐状体を巻き取るように常時付勢され、
浴室の壁面に取り付けられる左右の下方部材を備え、
上記下方部材は、下方に下方支持部を備え、上方に係止部を備えた断面略C字状のもので
あり、横方向に開口している開口を備え、
物干し竿は横方向から下方支持部と係止部との間に挿入され、
洗濯物と物干し竿の総重量が、ゼンマイバネによる物干し竿を引き上げる力よりも小さい
場合には、物干し竿は、上方に張り出された係止部によって上方への移動が不能なように
係止され、
洗濯物と物干し竿の総重量が、ゼンマイバネによる物干し竿を引き上げる力よりも大き
くなった場合には、下方支持部に物干し竿の荷重の一部が支持されることにより、物干し竿
の荷重が上記の荷重支持部と下方支持部との双方で支持されるようにしたこと
を特徴とする浴室用ハンガーを提供する。

40

【発明の効果】

50

【 0 0 0 6 】

本願発明は、物干し竿を使用しない場合には、ゼンマイバネの弾性力によって、物干し竿を天井付近に配位することができ、物干し竿が邪魔になったりすることがなく、気持ちのよい雰囲気でご入浴することができ、他方、使用するときには、ゼンマイバネの弾性力に抗して物干し竿を引き下ろして使用できる浴室用ハンガーを提供することができたものである。

そして、左右の係止部に上記の物干し竿の両端が係止されることにより、物干し竿が天井より離れた位置に係止され、左右の係止部材から上記の物干し竿の両端が外されることにより、紐状体がドラムに巻き取られ物干し竿が上昇するものであり、物干し竿の昇降操作が容易な浴室用ハンガーを提供することができたものである。

10

さらに、物干し竿の荷重が上記の荷重支持部と下方支持部との双方で支持されるようにしたものであり、荷重支持部と下方支持部とのそれぞれの耐荷重性能が小さくとも大きな荷重を支持することができ、過荷重に対する安全性を向上させることができたものである。

【 発明を実施するための最良の形態 】

【 0 0 0 7 】

以下、図面に基づき本願発明の実施の形態を説明する。

図 1 は、本願発明の実施の形態に係る浴室用ハンガーの使用状態を示す斜視図であり、図 2 は同浴室用ハンガーの正面から見た内部構造の説明図であり、図 3 は同浴室用ハンガーの中央縦断面図である。

20

【 0 0 0 8 】

この浴室用ハンガーは、浴室の壁面 1 1 に取り付けられる左右の荷重支持部 1 2 と、この荷重支持部 1 2 のそれぞれから下方に垂下されるロープ、ワイヤーなどの長尺状の柔軟性を有する紐状体 1 3 と、左右の紐状体 1 3 に両端が接続される物干し竿 1 4 と、荷重支持部 1 2 の下方における壁面 1 1 に取り付けられる左右の下方部材 1 5 を備える。

【 0 0 0 9 】

左右の各荷重支持部 1 2 は、ケーシング 2 1 と、このケーシング 2 1 内に回動可能に配位されたドラム 2 2 と、このドラム 2 2 に回転力を付与するゼンマイバネ 2 3 とを備える。ドラム 2 2 には左右の紐状体 1 3 の上端が固定され、このドラム 2 2 が回動することによって、ドラム 2 2 に紐状体 1 3 が巻き付けられ、巻き解かれる。ゼンマイバネ 2 3 は、一端がケーシング 2 1 側に固定され、他端がドラム 2 2 側に固定されることにより、このドラム 2 2 を、紐状体 1 3 が巻き付けられる方向に回動するように常時付勢しているものである。したがって、ドラム 2 2 及びゼンマイバネ 2 3 が、左右の紐状体 1 3 を上方に巻き上げることに伴い物干し竿 1 4 を上昇させるための巻き上げ装置として機能するものである。

30

【 0 0 1 0 】

ケーシング 2 1 は、下端に紐状体 1 3 の引き出し部 2 4 を有するものであり、この引き出し部 2 4 を含むケーシング 2 1 の下面は、上方に凹んだ凹部 2 5 となっている。この凹部 2 5 は、上方に引き上げられた物干し竿 1 4 の両端を受容するものであり、これによって、上方に引き上げられた物干し竿 1 4 が安定した状態を保つ点で有利であるが、凹部 2 5 を設けずに実施することもできる。なお、ドラム 2 2 から引き出された紐状体 1 3 が安定して引き出し部 2 4 に導かれるように、案内ローラ（図示せず）を設けて実施してもよい。

40

【 0 0 1 1 】

次に、下方部材 1 5 は、荷重支持部 1 2 の下方の壁面 1 1 に配位されるもので、下方支持部 3 1 と係止部 3 2 とを備える。

下方支持部 3 1 は、物干し竿 1 4 の両端の下方に位置することにより、物干し竿 1 4 を下方から支持するものであり、具体的には左右方向（壁面 1 1 から突出する方向）に物干し竿 1 4 の下方に伸ばされた部位であり、この例では、安定して物干し竿 1 4 の両端を受容し得るように上端が開放された略 U 字状をなすものである。

50

【 0 0 1 2 】

係止部 3 2 は、物干し竿 1 4 の上方への移動を阻止するように物干し竿 1 4 の両端を着脱可能に係止するもので、この例では、上記略 U 字状の開口部に形成された一对の対向する突起として実施され、この対向する突起（即ち係止部 3 2）間の開口長さが物干し竿 1 4 の外径よりも僅かに短く設定されている。そして、係止部 3 2 及び略 U 字状の下方部材 1 5 全体が弾性変形することによって、物干し竿 1 4 を係止部 3 2 から下方に降ろすことができ、物干し竿 1 4 が上昇しないように、物干し竿 1 4 を係止することができるものである。

【 0 0 1 3 】

次にこの実施の形態に係る浴室用ハンガーの使用方法を説明する。

10

まず、左右の荷重支持部 1 2 を浴室の左右の壁面 1 1 にネジ等の適宜固定手段で固定する。固定位置は、天井 1 6 に近い方が望ましい。ここで、左右の紐状体 1 3 は、ドラム 2 2 に巻き取られており、その先端には、物干し竿 1 4 の両端が接続固定されている。また、左右の荷重支持部 1 2 の下方の壁面 1 1 には、下方部材 1 5 がネジ等の適宜固定手段で固定される。洗濯物を干さない場合には、物干し竿 1 4 は、荷重支持部 1 2 の凹部 2 5 に下方から当接した状態で、天井 1 6 付近に配位されることとなる。

【 0 0 1 4 】

洗濯物を干す場合には、物干し竿 1 4 を引き下ろす。これにより、ゼンマイバネ 2 3 の弾性力に抗してドラム 2 2 が回転し、ドラム 2 2 に巻き上げられた紐状体 1 3 が繰り出され、その分、ゼンマイバネ 2 3 には回転エネルギーが蓄積され、物干し竿 1 4 は常時上方に付勢されることとなる。この物干し竿 1 4 の両端は、下方部材 1 5 の係止部 3 2 内に挿入され、上方に移動不能に係止される。

20

【 0 0 1 5 】

この状態で、洗濯物を物干し竿 1 4 に掛けて干すことができる。その際、洗濯物と物干し竿 1 4 の総重量が、ゼンマイバネ 2 3 が物干し竿 1 4 を引き上げる力よりも小さい場合には、物干し竿 1 4 は係止部 3 2 に係止された状態となり、下方支持部 3 1 には荷重がかからない。他方、洗濯物と物干し竿 1 4 の総重量が、ゼンマイバネ 2 3 が物干し竿 1 4 を引き上げる力よりも大きくなった場合には、下方支持部 3 1 に物干し竿 1 4 の荷重の一部が支持されることとなる。したがって、この場合には、荷重支持部 1 2 と下方部材 1 5 との両者によって荷重が分配されて支持される結果、一方に多くの荷重に係ることが防止される。その結果、荷重支持部 1 2 と下方部材 1 5 とのそれぞれの耐荷重性能を小さくすることができ、あるいは逆に言えば、物干し竿 1 4 に支持させることができる全体の重量を大きくすることができる。

30

【 0 0 1 6 】

物干しが完了するなど、物干し竿 1 4 を使用しない場合には、物干し竿 1 4 を上方に持ち上げることによって、係止部 3 2 が弾性変形して、物干し竿 1 4 と係止部 3 2 との係止が外れ、その状態で手を放すと、ゼンマイバネ 2 3 の力によって、紐状体 1 3 が巻き上げられて、物干し竿 1 4 が上昇して、凹部 2 5 に収まるものである。

【 0 0 1 7 】

次に、図 4 は他の実施の形態に係る浴室用ハンガーの正面から見た内部構造の説明図である。先の実施の形態に係る浴室用ハンガーにあっては、壁面 1 1 に荷重支持部 1 2 が取り付けられるように、ドラム 2 2 の回転軸と物干し竿 1 4 とが平行に配位されたものであったが、この例では、天井 1 6 に荷重支持部 1 2 が取り付けられるように、ドラム 2 2 の回転軸と物干し竿 1 4 とが略直交するように配位されたものである。そのため、紐状体 1 3 を円滑に下方に引き出すために、案内ローラ 2 6 が設けられ、ドラム 2 2 から横方向に引き出された紐状体 1 3 を下方に垂下させている。説明は省略するが、他の構成や使用方法は、先の実施の形態と実質的に同一である。また、図示はしないが、紐状体 1 3 の引き出し方向を変えることによって、壁面 1 1 と天井 1 6 とのいずれの場所にも取り付けることができる構造にして実施することもできる。

40

【 0 0 1 8 】

50

次に、図 5 はさらに他の実施の形態に係る浴室用ハンガーの正面から見た内部構造の説明図であり、図 6 は同浴室用ハンガーの中央縦断面図である。

上記の各実施の形態に係る浴室用ハンガーにあっては、左右の荷重支持部 1 2 のそれぞれにドラム 2 2、ゼンマイバネ 2 3 を設けたが、この例では、左右の荷重支持部 1 2 の何れか一方にのみドラム 2 2、ゼンマイバネ 2 3 を設けるようにした点が相違するものであり、他の構成や使用方法は、先の実施の形態と実質的に同一であるため、その説明を省略する。

【 0 0 1 9 】

先の例においては、ドラム 2 2 は一つの紐状体 1 3 のみを巻回するようにしたものであったが、この例においては、ドラム 2 2 は、第 1 巻回部 2 0 1 と第 2 巻回部 2 0 2 とを備える。第 1 巻回部 2 0 1 には物干し竿 1 4 の一端に接続される一方の紐状体 1 3 が接続され、第 2 巻回部 2 0 2 には物干し竿 1 4 の他端に接続される他方の紐状体 1 7 が接続される。この他方の紐状体 1 7 は、一方の荷重支持部 1 2 から引き出され、他方の荷重支持部 1 2 に渡されて、他方の荷重支持部 1 2 から垂下されて、物干し竿 1 4 の他端に接続される。より具体的には、第 2 巻回部 2 0 2 から引き出された紐状体 1 7 は、2 つの案内ローラ 2 7、2 8 を介してケーシング 2 1 の上方から横方向に引き出され、天井 1 6 付近に沿って反対側の荷重支持部 1 2 に渡される。荷重支持部 1 2 内には荷重支持部として機能する案内ローラ 2 9 が設けられ、この案内ローラ 2 9 によって下方に案内されて、引き出し部 2 4 から引き出されて物干し竿 1 4 の他端に接続されるものである。作動状態は、先の例と同様であり、相違するのは、2 つの巻回部 2 0 1、2 0 2 を備えたドラム 2 2 が、一つのゼンマイバネ 2 3 によって付勢され、2 本の紐状体 1 3 と紐状体 1 7 とが巻き上げられる点にある。この例でも、左右の荷重支持部 1 2 を、天井 1 6 に取り付けるようにしてもよい。また、左右の荷重支持部 1 2 と、両者間に渡される紐状体 1 7 とを外観上連続したケーシングに収納するなどしてもよい。

【 0 0 2 0 】

次に、下方部材 1 5 については、図 6 に示すように、下方に下方支持部 3 1 を備え、上方に係止部 3 2 を備えた断面略 C 字状のものとして実施することもできる。この例では、C 字状の横方向に開口している開口は物干し竿 1 4 の径よりも大きく形成され、物干し竿 1 4 は横方向から下方支持部 3 1 と係止部 3 2 との間に抵抗なく挿入される。物干し竿 1 4 は、上方に張り出された係止部 3 2 によって上方への移動が不能なように係止され、他方、物干し竿 1 4 と干し物の重量がゼンマイバネ 2 3 の力よりも大きい場合には下方支持部 3 1 に支持されるものである。

【 0 0 2 1 】

以上の実施の形態の他、この発明は種々変更して実施することができ、例えば、特許 3543058 号に示されたコードリールのストッパ構造を巻き上げ装置に用いることもできる。また、巻き上げ装置は、必ずしも荷重支持部 1 2 と一体のケーシングに収納する必要はなく、別体としてもよい。物干し竿 1 4 は、一定長さを有するものとして実施する他、長さを調整できるものとして実施してもよい。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 2 2 】

【図 1】本願発明の実施の形態に係る浴室用ハンガーの使用状態を示す斜視図である。

【図 2】同浴室用ハンガーの正面から見た内部構造の説明図である。

【図 3】同浴室用ハンガーの中央縦断面図である。

【図 4】本願発明の他の実施の形態に係る浴室用ハンガーの正面から見た内部構造の説明図である。

【図 5】本願発明のさらに他の実施の形態に係る浴室用ハンガーの正面から見た内部構造の説明図である。

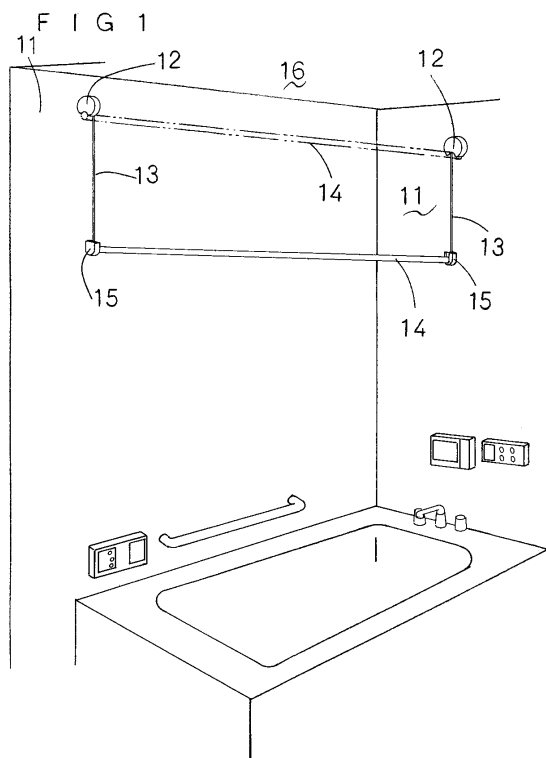
【図 6】同浴室用ハンガーの中央縦断面図である。

【符号の説明】

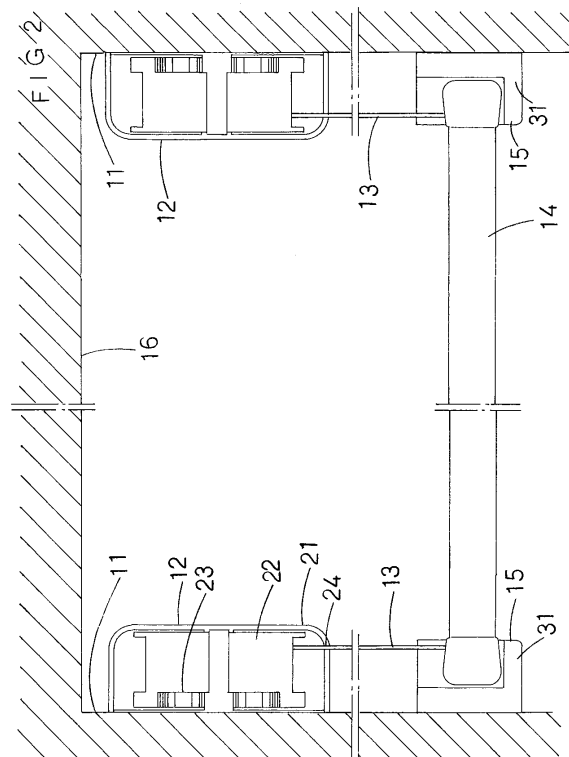
【 0 0 2 3 】

- 1 1 壁面
- 1 2 荷重支持部
- 1 3 紐状体
- 1 4 物干し竿
- 1 5 下方部材
- 1 6 天井
- 1 7 紐状体
- 2 1 ケーシング
- 2 2 ドラム
- 2 3 ゼンマイバネ
- 2 4 引き出し部
- 2 5 凹部
- 2 6 案内ローラ
- 3 1 下方支持部
- 3 2 係止部

【図 1】

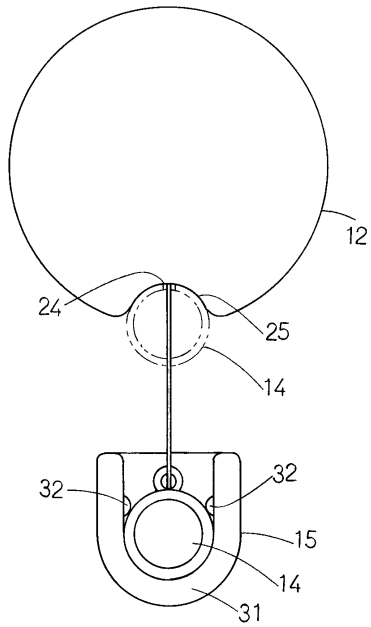


【図 2】



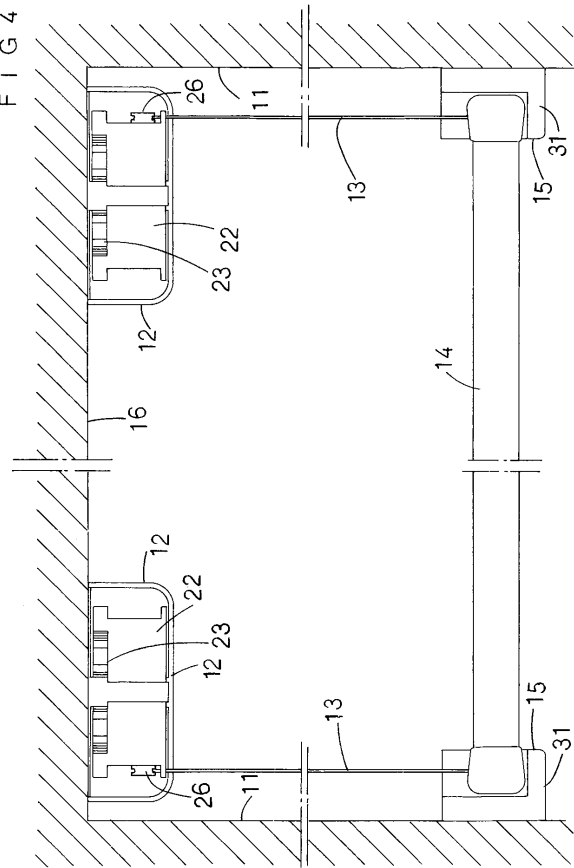
【図 3】

FIG 3



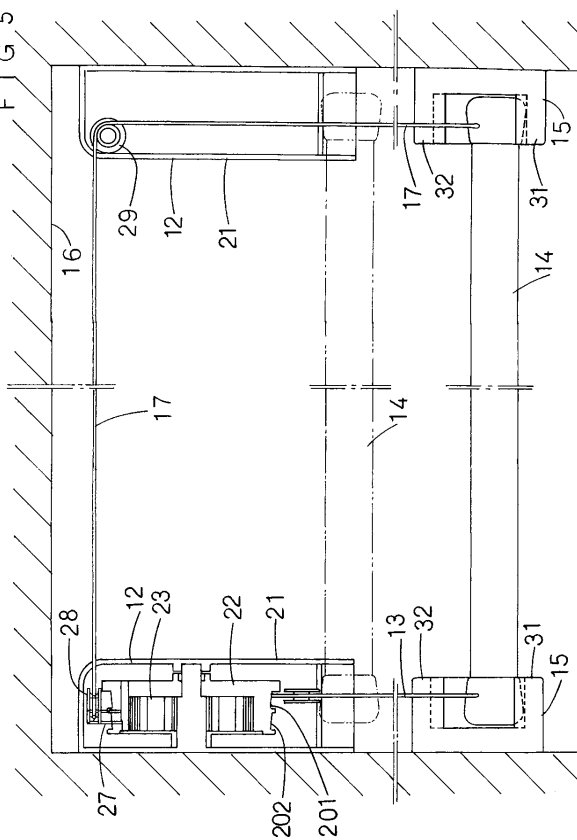
【図 4】

FIG 4



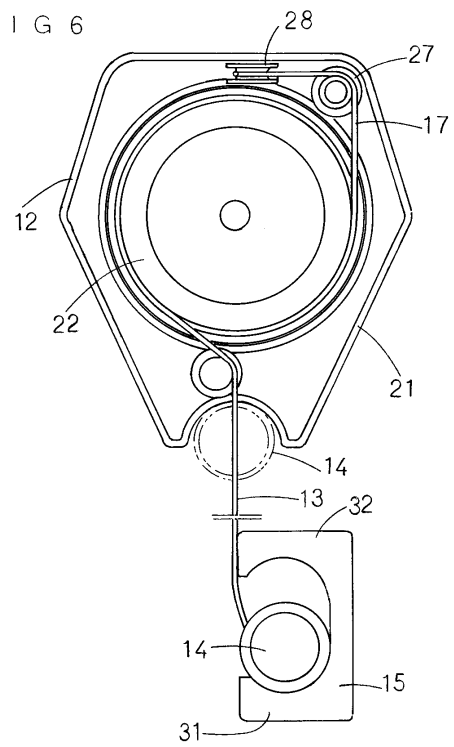
【図 5】

FIG 5



【図 6】

FIG 6



フロントページの続き

(72)発明者 井口 公隆

大阪府大阪市中央区谷町 6 丁目 1 8 番 3 1 号 モリテックスチール株式会社内

審査官 山田 由希子

(56)参考文献 特開 2 0 0 1 - 3 4 0 7 0 0 (J P , A)

特開 2 0 0 0 - 1 1 8 9 6 8 (J P , A)

特開 2 0 0 2 - 1 7 7 0 6 4 (J P , A)

特開昭 6 1 - 0 4 5 7 0 5 (J P , A)

登録実用新案第 3 0 5 4 8 3 5 (J P , U)

(58)調査した分野(Int.Cl. , D B 名)

A 4 7 B 5 1 / 0 0

D 0 6 F 5 7 / 1 2

D 0 6 F 5 8 / 1 0